⑤　わさびの品種選抜プロジェクト　　募集人数:3名

【プロジェクト概要】

遠野市は、大正時代から根わさび生産をおこなっており、東北一の生産量で、豊洲市場を中心とした販売を行っています。地域にある水資源に注目し、栽培面積を拡大してきた歴史があり、特産物として遠野市に根差しています。わさびは、栽培期間が 15 か月から 24 か月を要するため、ビニールハウス導入し冬季間の寒さを克服し各産地と張り合うわさびを生産しています。最近では、根わさびの他、林間わさび栽培を市内生産組合で栽培されており、チューブ入りわさびに代表される加工原料の生産にも取り組んでいます。岩手県の林間わさび栽培は、国内で最大の生産地となっており、岩泉町、宮古市、九戸村での生産が盛んにおこなわれています。

海外での和食ブームによりわさびが認知され、国内を問わず海外での国産わさび、加工原料の需要が伸びており、販売においてはまだまだ伸びしろのある品目です。遠野市は山林、水資源が豊富にあり、休耕田、耕作放棄地も目立ち始めているため、これらの立地を活用し、根わさび、加工向けわさびの生産の可能性を検討したいと考えます。

これまでの取り組みとして、遠野市第三セクターの（一社）遠野わさび公社前身の、社団法人宮守わさびバイオテクノロジー公社時代より約 30 年に渡り市内生産者への苗供給を進めてきました。これからは、全国で栽培されている品種の中から、地域の環境に合ったわさびを選抜していきたいと考えています。

わさびの選抜は、時間を要するものですが、現状のわさびに満足することなく、遠野わさび公社、遠野市内の生産者と一緒に地域の環境に合うわさびを試行錯誤しながら選抜するメンバーを募集します。

【パートナー】

〇菊池　陽（(一社）遠野わさび公社　所長）

遠野市宮守町出身。平成４年に(一社)遠野わさび公社前身の(社)宮守わさびバイオテクノロジー公社入社。組織培養技術によるわさび苗の育苗に従事。令和元年より（一社）遠野わさび公社所長に就任。公社運営の他、苗の生産、わさび栽培に従事している。

【求める人物】

・わさび栽培に興味のある方
・品種改良などの現場で作業を経験している方

【ミッション / ロードマップ】

１年目：公社、生産者の現場で一緒に作業を行いわさびに関しての知識の習得、作業を経験していただきます。他産地の視察も行います。

２年目～３年目：１年目の作業の他に、栽培されているわさびから生産者の目に叶ったわさびを提供していただき、栽培試験を進めていきます。